

こ・い・き・れ・ん

○総人口 59,640人 ○65歳以上人口 16,230人 ○高齢化率 27.2%

○シニアクラブ会員数 2,147人 ○シニアクラブ加入率 13.2%

～こ・い・き・れ・ん(湖西いきいきクラブ連合会)～

仲間づくり推進チェック表(令和 元年度)

実施した事項は、□にチェックを入れる。

1 実施方針と組織づくり	■ 役員会等(クラブ活動推進相談員を含む)で方針・実施内容を協議			
	■ 単位クラブへ方針・実施内容等周知			
	□ その他()			
2 現状把握	■ クラブ未設置自治会の把握 (自治会数: 2)			
	□ 管内加入率の把握 (%)			
	□ その他()			
3 目標設定	■ クラブ新設・再興目標の設定(クラブ数: 1)			
	■ 会員加入目標の設定 (会員数: 2,219人) 又は(加入率: %)			
	□ その他()			
4 運動内容	運 動 項 目	計画の有無 (○×)	取組みの有無 (○×)	実施後の評価 (○×)
	自治会連合会にクラブ紹介や入会案内チラシの配布を依頼	○	○	○
	自治会連合会行事等への積極的参加と連携			
	クラブ未設置地区のある自治会連合会に設置に向けた協力を依頼	○	○	×
	単位クラブ役員と会員加入促進に向けた話し合いや情報交換	○	○	○
	地域内の公共的施設や商店等に入会案内チラシの配架を依頼	○	○	○
	未加入者に対するクラブ事業への体験機会を提供	○	○	○
	その他			
5 目標に対する実績	新設・再興クラブ数: 0 加入会員数: 2,094人			
6 取り組んで良かった点	・40単位クラブの年3回の加入促進会議で「なぜシニアクラブに入らないのか？」をアンケート調査、今後の活動への目標の統合ができた。			
7 反省点	・会員加入運動は新規事業も取り入れて活動しているが、未会員の参加者も増加傾向だが、加入率が低い。 ・40名の加入促進委員は入会しない理由の最大の課題が「役員の成り手がない」と認識しているがその解決策を見つけられずにいる。			

仲間づくり促進モデル事業実施記録(令和 元年度)

組織名:こ・い・き・れ・ん (湖西いきいきクラブ連合会)

仲間づくり推進 チェック表項目	年月日	内 容
1 実施方針と 組織づくり	2019.7.12 2019.12.21 2020.3.22 (予定)	<p>(推進組織構成メンバー他)</p> <p>①湖西いきいきクラブ連合会として単位クラブ毎に加入促進委員を設け、年3回の会員加入委員会を開催し、単位クラブの抱えている課題及び成功事例を発表し水平展開を図る。また、来年度に向けたこいきれんとしての活動内容を検討し、会員増減の確認と対策の検討を実施。</p> <p>②女性部の活動のレグダンスに会員以外の人達に声を掛け参加してもらい輪を広げる。</p> <p>③過去に解散された単位クラブへのアクション途中経過発表や課題について会員加入促進委員と協議検討を実施</p> <p>④解散の最も多い要因の「会長のなり手が無い」について、単位クラブごとにルール化の検討をしていただくことになりました。</p> <p>⑤写真広報部を中心に地域活動状況を収集、いきいきクラブ通信で発表</p>
2 現状把握		<p>①単位クラブ毎に促進活動計画を作成し、各々抱えている課題を確認</p> <p>②特に若手男性への「仲間づくり」の呼びかけ活動してもなかなか進まない。</p>
3 目標設定		<p>①各単位クラブ毎に仲間づくり(新規会員)の目標の設定。</p> <p>②こいきれん合同レク発表会での参加呼び掛け。</p> <p>③女性部ふるさと探訪での合同イベント開催。</p>
4 運 動	2019.05.18	<p>①3H運動の実施(一人が一人に一声かけよう！) 今年度、当クラブ新規会員獲得するため28年度作成したリーフレットを増刷し、会員一人が一人の新規会員獲得を合言葉で活動。</p> <p>②こいきれん全体のレク発表会を開催し、270名が参加。未会員55名が参加してくれたので、楽しさを分かってもらった。</p> <p>③女性部のふるさと探訪では、ヘアケア・スキンケアを製造する豊橋工場を見学。</p>

仲間づくり促進モデル事業 記録

①合同レクリエーション活動の様子



②歴史探訪 ふるさと訪問



促進活動でうまくいった点	個数	率
各種行事への参加 勧誘・実体験	11	31.4%
身近な人への声掛け	6	17.1%
加入促進目標の設定	5	14.3%
声掛け推進	5	14.3%
自治会・他団体との協業	4	11.4%
役員への前準備	2	5.7%
役員会・他で方策検討	2	5.7%

苦労した点	個数	率
団体活動に興味がない	12	25.5%
他グループで活動している	7	14.9%
老いていることをあえて自覚しない。	7	14.9%
役員をやりたくない	6	12.8%
誘っても拒絶される	5	10.6%
まだ現役	2	4.3%
夫婦・家族の反対	2	4.3%
その他	6	12.8%

所感

1. 昨年に比べ会員加入の促進に関して、委員の皆さんが熱心に考え、具体的な行動している状況がよく分るようになった。特にレクダンス・旅行等各行事への参加の呼びかけが目立った。
2. 全体的には自治会他の団体と協業しPR活動を、個別には活動のリーダーや親しい知人が誘う方法が良さそうだ。
3. 現状把握もなぜ(どうして)という中身が少しずつ明確になってきて、対策への足掛りになりそうだ。どうしても入会したくない人、誘い方によっては入会しそうな人の層別も必要のようだ。
4. 活動目標を明確にし、定期的に参加活動をフォローしている単者クラブを更に増やしたい。
5. 未加入者に積極的に声をかけ、レクダンスや旅行に誘い実体験をしてもらい加入につなげる事例が報告されている。特に親しい人の声かけの効果が大きいようだ。
6. 勧誘する際「いきいきクラブ」をよく理解してもらえるPR用のツールの必要性はないか？
やみくもでは駄目だろう。